

平塚市博物館・財団法人かながわ考古学財団 共催 平成 21 年度地域速報展

相模国府の発掘調査

— 湘南新道関連遺跡・神明久保遺跡の調査成果から —



相模国府跡の現況と

参加者でにぎわう現地説明会(右)

開催期間 2009年12月12日(土)～2010年1月24日(日)

財団法人かながわ考古学財団では、神奈川県内各地で国・県等の公共事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施しています。発掘調査は開発工事によって消滅する遺跡を図面や写真に記録する作業ですが、その後、出土品等の整理作業を経て、最終的に調査報告書を刊行し、全国の図書館・研究機関等へ配布することで、一連の調査は終わります。遺跡の調査は、時折、現地見学会や遺跡発表会などを通じて成果の一端を県民の皆様を紹介する機会がありますが、出土品等整理・報告書制作を通じて、現地の作業だけでは判らなかった新たな事実が得られることも少なくありません。

そこで、今年度は平塚市博物館と共催して、かながわ考古学財団が相模国府域で行った発掘調査のうち、湘南新道関連遺跡と神明久保遺跡の成果について、展示・講演会等を通じてご紹介いたします。

地域速報展関連事業「ようこそ考古学」

地域速報展の展示解説と講義

日時：平成 21 年 12 月 20 日(日)14:00～16:30

会場：博物館講堂・特別展示室

講師：柏木善治(財団法人かながわ考古学財団)

参加：往復はがき又はメールで行事名・住所・電話番号・氏名を記入のうえ「かながわ考古学財団 野庭出土品整理室」に申込

あて先は次ページをご覧ください

締切：平成 21 年 12 月 15 日(火)(必着)

定員：80名(応募多数の場合は申込先着順)



古代の武蔵国が東京都と神奈川・埼玉両県にまたがって存在することに象徴されるように、3都県は旧石器時代から密接な関係をもっています。今回の公開セミナーは、平成21年度地域速報展の開催に合わせて3都県の調査・研究組織が共催して古代東国における鉄の文化について考えます。

日時：平成22年1月16日（土） 午前10時～午後4時40分

会場：平塚市教育会館3階 大会議室

対象：一般 参加費：無料

申込：往復はがき又はメールで行事名・住所・電話番号・氏名を記入のうえ下記に申込

締切：平成22年1月12日（火）（必着）

定員：300名（応募多数の場合は申込先着順）

共催：財団法人かながわ考古学財団、財団法人東京都スポーツ文化事業団
財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団、平塚市博物館

内容：

第一部

10:10～

趣旨説明

10:25～11:00

報告1

相模国府域の鉄生産の様相

明石 新・栗山雄揮（平塚市博物館）

11:00～11:35

報告2

相模・南武蔵の鉄生産

齊藤真一氏（かながわ考古学財団）

11:35～13:00

昼休み

13:00～14:05

特別講演

古代都城と集落の鉄

松村恵司先生（文化庁）

14:05～14:40

報告3

北武蔵の鉄生産—大山遺跡の事例を中心に—

赤熊浩一氏（埼玉県埋蔵文化財調査事業団）

14:40～15:15

報告4

南武蔵多磨郡における鉄器の生産と流通

松崎元樹氏（東京都埋蔵文化財センター）

第二部

15:20～16:35

ミニシンポジウム「よみがえる古代東国の鉄文化」



地域速報展関連事業の参加申込先

〒234-0056 横浜市港南区野庭町1660

（財）かながわ考古学財団 野庭出土品整理室

メール： fukyu@kaf.or.jp

「特別編 相模国府の考古学」 開催

12月20日(日)、地域速報展「相模国府の発掘調査」の開催に合わせ、財団法人かながわ考古学財団の柏木善治氏を迎えて「相模国府の考古学」と題した講義と地域速報展の展示解説が実施されました。柏木さんは湘南新道関連遺跡群の調査を担当され、相模国庁協殿の存在をつきとめられました。



▲ 参加者の熱気に包まれた講演会場



◀ 開催中の地域速報展 展示解説に聞き入る参加者

当日は95名の考古学ファンが参加して講堂は満席となる中、豊富な写真と図によるていねいな解説によって相模国府研究の最新情報が紹介されました。

平塚市博物館・財団法人かながわ考古学財団 共催 平成21年度地域速報展

相模国府の発掘調査 - 湘南新道関連遺跡
・神明久保遺跡の調査成果から -

開催期間 2010年1月24日(日)まで